「第 50 回全日本スキー技術選手権大会」の応援観戦

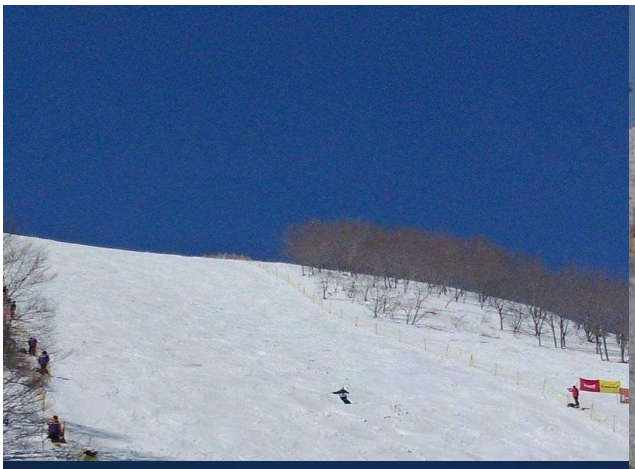
過日の３月１２日～１７日、長野県白馬八方尾根スキー場にて第 50 回を迎えた「全日本技術選」に応援観戦にうかがった。

今回は、ジャッジが今までのイグザミナーに代わり、佐藤譲氏、渡辺一樹氏等、歴代デモンストレーターによって行われ、種目も、昨年度緩斜面が多かった反省からか、急斜面・難斜面の「うさぎ平コース」が主に使われた。

競技は、「丸山貴雄（長野）の４連覇を誰が阻むか？」の興味の中、昨年、最終種目「ジャンプ台小回り」で逆転され、初優勝を逃した吉岡大輔（新潟）が、本選・決勝８種目中５種目が１位得点で、最終種目「不整地小回り」で追い上げた丸山貴雄をかわし初優勝を遂げた。

なお、北海道勢は、井山敬介が最終「不整地小回り」でトップになるも総合７位に終わり、山田卓也は総合８位であった。

女子は、佐藤麻子（青森）が８種目中６種目１位と、ダントツの初優勝であった。北海道勢は、鈴木綾乃の１３位が最高位であった。



技術選大会期間中、50 回大会を記念し、「歴代スキーデモンストレーターとの集い」が開催され、第 1 期の丸山庄司氏、平沢文雄氏をはじめ歴代デモ 50 数名が一堂に会し、関係者・ファンとの交流を図った。

折角の機会であることから「白馬・山とスキーの総合資料館」も訪ねてみた。

館内には、「山とスキーの図書館」や八方に関わりの深い”福岡孝行”氏の資料など「さすが、スキー100 年を誇る白馬村」と感心させられた。

また、本協会機関誌「シュプール」もスキー図書館に展示されており、これは、この資料館創設に大きく関わった元 SAJ 専務理事の丸山庄司氏からの寄贈とのことである。